

議 事 録 (要旨)

会議名

第4回佐久市臼田地区生涯活躍のまち事業化検討委員会

日 時	平成28年9月9日 (金)	開催場所	あいとぴあ臼田 多目的室3・4	時 間	17:00 ～ 18:00
出席者	委 員：井出民生、市川伊知郎、伊藤洋平、北澤彰浩、佐藤昭彦、 篠原寿人、堀内文雄、山田厚子 事務局：地域整備室長 遠藤修、地域整備係長 市村志郎、 地域整備係 大内翔太郎、地域おこし協力隊 田嶋謙二				委員 出 8人 欠 4人
提出資料	・資料1 佐久市臼田地区生涯活躍のまち事業化基本計画				

≪ 1 開会 ≫

≪ 2 会議事項 ≫

(1) 佐久市臼田地区生涯活躍のまち事業化基本計画について
事務局より説明【資料1】

委員 ニーズ調査と検討はどのように行っていく想定か。

事務局 地方創生交付金事業として、株式会社コミュニティネットに業務委託し、東京に出店中の移住促進センター内ブースにて佐久市の情報発信、PR、ニーズ調査を行っている。
また、宅建協会等の関係団体ならびに観光交流推進課からも生涯活躍のまちに興味のある方の情報を共有してもらい、連携をとっている。

委員 以前、観光交流推進課のセミナーに参加したところ、数年前に比べて参加者の傾向が変わっていると感じた。田舎暮らしを佐久市でしようという明確な意思を持った参加者が増えていると感じた。
他県のブースを見ているとUターンが多いようだが、佐久市はIターンを見込めるところが優位にあると感じた。

事務局 他県と比較したときの、都市圏への交通アクセスのメリット、医療、介護のメリットを強く打ち出してPRしていきたい。

委員 体験ツアーについて。平成31年には住居はまだできていないと思うが、市内の見学先として想定しているところはあるのか。

事務局 現在は民間の宿泊施設を利用する方向で検討している。また、臼田地区に移住体験ができる施設を整備したいと考えている。

委員	<p>まず佐久市の良さを知ってもらう為のきっかけとして、都会の人を呼んで魅力を知ってもらう活動を行っている。自動車さえあれば、病院へのアクセスも都会より良いという意見をもらっているため、体験をしてもらうことは重要だと感じている。</p> <p>迎え入れる側には臼田地域のバリアフリーのこと等を勉強し、臼田での暮らしやすさをわかっておいてほしい。</p>
委員	サービス付き高齢者住宅は賃貸か。
事務局	賃貸である。
委員	空き家バンクも物件が不足してくる。賃貸の空き家があるとよい。最初から住居を購入するとなると移住者にとってハードルが高い。
事務局	<p>基本的に住まいづくりはサービス付き高齢者住宅を考えており、かつ、民間の事業主体が整備していく予定。</p> <p>住まいをサービス付き高齢者住宅で考えている理由としては、住所地特例が認められるため、移住者の介護保険料、国保医療費は前住所地が保険者となり、佐久市の負担が軽減される。</p> <p>空き家バンクの売買に関して必要が有る場合は宅建協会と連携をとっていく。</p>
委員	サービス付き高齢者住宅が安ければ入居希望者は集まると思う。
委員	サービス付き高齢者住宅の借り方について。ゆいまーるの場合15年分前払いする。途中で出た場合は残りを返却する。15年経過後の家賃は無料。
委員	それはサービス付き高齢者住宅の借り方としては一般的ではないと思うが。
委員	アクティブシニアがくるという想定であるため、15年以上生活されるのであれば入居者にとって得である。
委員	最初から大金を用意できないケースを考慮すると借り方は選べた方がよいのでは。
委員	選べるようになっている。最初は月額払いにして途中から一括支払いすることも可能。
委員	「サービス付き高齢者住宅」というとサービスが全部ついていると勘違いされる恐れがある。基本的には見回りと相談のみのはず。事前に説明して理解してもらう必要があるだろう。
委員	スケジュールについて。サービス付き高齢者住宅はどこで、どういう形でだれが

作るのか、今後どのように決めていくのか。資料からでは読み取れない。

事務局 住宅に関しては既存ストック、空き家を活用していく予定。佐久市での第一弾として臼田地区を予定しており、持続的に佐久市で広げていく構想である。9月13日の住民向け説明会を経て、具体的に検討に入っていく想定。来年度あたりから募集等かけていきたいと考えている。

委員 具体化していくには問題がでてくる。どんな移住希望者がくるかは実際にはわからない。まずは住民の皆さんに全体の計画を理解してもらうことが大切。

委員 まちづくり会社がイメージしづらい。生涯活躍のまち事業のためだけの会社と捉えればいいのか。

事務局 現在は生涯活躍のまち事業のためだけの会社という構想である。生涯活躍のまち事業の構想の中で臼田地区、次のステップとして佐久平駅前開発を考えている。今後の佐久平駅前開発にもまちづくり会社を活用するか検討していきたい。

委員 まちづくり会社は第三セクターか。

事務局 第三セクターとは異なるが、市の出資は予定しているため、出資率を調整して第三セクターの扱いにしない。

委員 まちづくり会社の設立については現在検討が進んでいるのか。

事務局 まだ検討の初歩段階である。

委員 自動車が無ければ生活が大変であることを常々感じている。移動手段が必要だと思う。交通セクションとタイアップして真剣に検討してほしい。

事務局 臼田の中心地に住居をと考えているが、委員の指摘の通り、検討したい。

委員 コンパクトシティとは別に考えていいか。

事務局 別と考えている。コンパクトシティは佐久総合病院の再構築に伴ってすすめている事業。

委員 アウトラインの説明として本日の検討委員会。9月13日に住民に向けて説明する。

委員 説明会は1回だけか。2回目は予定しているか。

事務局 9月13日の1回である。具体的になったら適度説明会を開くことを想定している。

(2) その他

委員 サービス付き高齢者住宅の名称に「佐久」を入れて全国的に広めてはどうか。

委員 名前が与える印象は大きいと思う。

《 3 閉会 》